

グリーンスローモビリティの導入検討に向けた実証調査地域等が決定しました

千葉市では、千葉市地域公共交通計画において、グリーンスローモビリティ（略称：グリスロ）を“支え合い交通”の1つの手段として位置づけ、「スポット的に公共交通へのアクセスが困難な地域、地域の回遊性向上を要する場所など」への導入を進めることとしています。

今年度、グリスロを活用した住民・企業等の共助による身近な移動手段確保に向けた実証調査を行うため、調査の実施を希望する地域等を募集した結果、実証調査地域と順位が決定しましたので、お知らせします。

1 実証調査地域及び順位

- 第1位 こてはし台地区（花見川区）
- 第2位 都賀の台地区（若葉区）
- 第3位 幕張ベイタウン地区（美浜区）

※提案された運行計画や関係者等との調整状況等から、順位を決定。順位の高い地域から車両貸出期間を優先的に決定することが可能。

2 実証調査時期

令和4年10月～11月にかけて各地域2週間程度の実証調査を予定
（詳細は今後調整）

<参考>

1 グリーンスローモビリティ

時速20km未満で公道を走ることが可能な4人乗り以上の電動車両です。

環境への負荷が少なく、狭い路地も通行が可能で、車内での会話を楽しみながら移動できる「新たなモビリティ」として期待されています。



グリーンスローモビリティ

2 支え合い交通

地域住民が自ら守り育てる移動手段として、行政や交通事業者等とともに協力して支え合うことにより、既存公共交通と調和して地域の暮らしを支える交通です。“支え合い交通”により、既存公共交通の活性化や交通モード間の切れ目のない移動手段の確保を図ります。

3 実証調査への応募期間

令和4年5月16日（月）～6月17日（金）